



四つのテスト

— 言行はこれに照らしてから —

- | | |
|------------|------------------|
| I 真実かどうか | III 好意と友情を深めるか |
| II みんなに公平か | IV みんなのためになるかどうか |

2月17日例会：卓話「日本の踊りについて」花柳雅鶴様

2月24日例会：卓話「彫刻家 石川雲蝶」木原フォート所長 木原 尚様

3月2日例会：卓話 米山奨学生チュドリー、エムディ、ズバエル、アクトル君

3月9日例会：卓話

3月16日例会：エレクト研修報告会

3月23日例会：新入会員卓話 丸山達夫会員

3月30日例会：夜例会 於三条ロイヤルホテル 午後7時点鐘

卓話 梨木美裕樹様



Lend a Hand

会長／山本 賢

幹事／西山 斉

SAA／小林繁男

三条北ロータリークラブ週報

手を貸そう

例会日
2004. 2. 10
累計 No 837
当年 No 30

国際ロータリー会長 ジョナサンB.マジアベ 第2560地区ガバナー 原 信一
ホームページ <http://www.rotary2560.net>

例会日／火曜日 12:30～13:30

例会場／三条ロイヤルホテル TEL34-8111 FAX34-8114

事務局／三条市西四日町3-15-34 ヒューマン・ハーバー内

TEL35-7160 FAX33-8972

メールアドレス north@sanjo-nrc.org ホームページ <http://www.sanjo-nrc.org>

行事：「家族週間」卓話「家族月間によせて」

地区ロータリー家族委員会 梨木建夫委員長

出席：本日の出席 60名中 42名

先々週の出席率 59名中 53名 89.83% (前年同期83.33%)

【1月の出席状況：会員数59名 例会数4回 平均出席率84.32% (前年同月83.25%)】

先週のメイクアップ：2月5日 新入会員オリエンテーション (敬称略)

星野義男、丸山達夫、本間重満、青柳康博、山本 賢

山崎 勲、木宮 隆、梨木建夫、大野新吉

2月9日 三条南RCへ 中條耕二さん、梨本清一さん

会長挨拶：山本 賢会長



今日はNHK番組制作局チーフプロデューサー今井彰氏が故郷大分県でご講演された、タイトル「プロジェクトX・挑戦者たち～逆境に負けない」を抜粋して話させていただきます。今井氏は番組を担当するにあたって一つくらいは一般の人達が頑張っている姿、一つの地域や会社が頑張っている姿に光を当てる番組があってもよいのではないかと考えたのがそもその動機だったそうです。

日本という国は政治的なスーパースターが引っ張って来たのではなく、中小企業と地域とそこで働くサラリーマンたちが、懸命に立ち上げてきた国だということです。

昭和20年8月15日に科学も技術も文化も全て根絶になるような状況から、自分達の地域を少しでも良い町にしよう、ボロボロになった自分達の会社を少しでも立ち直らせようという人々の総意と数千、数万のプロジェクトの攻防戦の上で、今の私達がおり、それは企業においても同じことが言えるのではないかと私も考えます。

番組の取材で明らかにされたことは、胃カメラは昭和25年に東京大学分院の医師 宇治達郎さんとオリンパスの技術者杉浦睦夫さんの2人が中心となって世界で初めて日本人が作った国際的な作品で

す。2人は戦後の物資のない時代に胃カメラを作り、本来なら、宇治先生は医学会の頂点に立てるバ
スポートを手にし地位や名誉も手にできたはずです。ところが先生はあっさりと東大を辞め、故郷に
帰って町医者になったのです。そして、それから30年間生涯を地域医療の為に尽くしました。影の人
がいたからこそ、こうして今日の医学会があることを忘れてはなりません。自動車産業のホンダ、磁
気技術のオムロン等も同じことが言えると思います。

1つの開発、1つのチャレンジが小さな会社を飛躍させていく中で、そこに働く人達は、自分達の
仕事のやりがいやプロジェクトにとって何が必要なのかを見出していく。その開発に果敢に取り組ん
で市場を切り開いていき、更に世界の誰もが追いつかないうちに、また1歩先に進んでいくことで、
日本人は戦い勝ってきたのではないかと思います。いつも未来に向かってテーマを持ち戦後の数十年
間を生きてきたはずです。ところがこの10年に限ってテーマがないのです。それは、成果主義の中
で、短期間で何でも良いから利益を生まなければという風に、企業も社会全体も焦り始めたからだ
と思います。テーマが見えなくなり、自分は一体何の為に働き、自分の日々を誰が見つめているのかと
いう、非常に大きな疑問を抱き始めたここ10年ではなかったかと思います。そういった意味で、本来
日本人が歩いてきた道、地域社会、中小企業、サラリーマン達がどういう風に戦いをしてきたのか、
もう一回再確認をしながらこの番組を見ると、又違った意味で興味が湧いてくると思います。そして
逆境にも負けず、力を込めて戦後を生きた人、あるいは1つのプロジェクトに人生を捧げた人達の力
強さが伝わってくるはずです。

私は今井氏の話を読し号泣するほど感動いたしました。

追伸 先週の前原耕二先生のご講話で紹介のありました「JHP・学校をつくる会」について参考まで
に載せておきます。

「JHP・学校をつくる会」は国税庁の指定する「認定NPO法人」の資格を取得しました。皆様か
らのご寄付は、税制上、寄付金控除の対象になります。

平成16年1月

特定非営利活動法人 JHP・学校をつくる会

代表理事 小山内 美江子

当会は、皆様方から暖かいご支援に少しでもお応えできるようにと、かねてよりNPO法人の活動
を支援する税制上の特例措置である「認定NPO法人」の資格を取得するべく申請準備を進めてまい
りましたが、このたび、厳重な審査の結果、本年1月1日をもって、認定を受けることになりまし
た。この資格は、日本全国で1万を超えるNPO法人のなかでも現時点で19団体にしか認められてい
ない名誉あるものです。

・ 病気やその他の個人的問題により例会に出られないロータリアンにあなたが気を配ります。
慈愛の行動、ロータリー内の調和、これはあなたの個人的な誓約です。もしあなたが「奉仕」を信奉
するなら、クラブで「奉仕」が実践されるよう努力してください。

もしあなたが平和を信奉するなら各国でそして国際社会で平和を推進してください。

もしあなたがロータリーの普遍性を信じるなら、世界のあらゆる文化に敬意を表すよう奨励し、ロ
ータリーの活動でも、これを実践してください。間違いなく人々が耳を傾けてくれ、こうしてロータ
リーの理想を広める機会が得られます。

もしあなたが慈愛を信じるなら、ピチャイ・ラタクル前会長の要請通り慈愛の種をまきましょう。

もしあなたが私たちの団体を信じるなら、それが人数に持つ重要性を信じるなら、ロータリーを尊
ぶ事のできる人々と一緒にロータリーの発展のために活動しましょう。真に「超我の奉仕」を信奉す
る会員をロータリーに留めましょう。

以上がジョナサン・マジアベ会長の「家族委員会」の概念です。

これらをふまえて各クラブ、おのおのにクラブ奉仕委員会の中に家族委員会を新設していただき、
ロータリアン自らと、家族、友人等々にロータリーの理解を深めていくことが重要な目的でありま
す。

今年度は、家族委員会設立元年であるという年でありますので、今後とも継続されていく事が希望
されております。がしかしまだまだアバウトな面も弱冠あり、各クラブで見当、把握、認識されアド
バルーンを上げていただき、それらをサポートしていきたいと思います。

以上よろしくお願いします。

会 員 の 声： 会社の成長は「自分が成長しなければ会社は成長しない」という自覚から
坂本 勝司

アメリカで、あるアリの観察から、懸命に働いているアリが7割、ただ行ったり来たりしていて実
は何もしていないアリが2割、ボーッとしてまったく動かないアリが1割となることがわかった。そ
こで、さらに、その3グループをそれぞれ分けて独立させた。すると、勤勉な「7割グループ」は再
び「7対2対1」の割合になり、さぼりの「1割グループ」も「7対2対1」となったそうです。

どこの組織にもは働かないものが3割もいるのか、ひどいもんだで終わっては何ともなりません。見
方を変えれば、「さぼりグループ」の者も環境が変われば力を発揮するということです。

人を活かすためには、教育・研修などの人材育成とともに組織を活性化させる仕組みとして、自分
のやりたい部署に応募できる「社内公募制」や人事異動なども必要だということだと思ひます。

また、アリではなく、人の組織は「勤勉グループ」の割合が高いか低いかは、その組織の企業文
化、企業風土の水準だと考えられます。8割、9割と高い企業もあるでしょう。その逆もあるでしょ
う。

企業が人で決まるとすれば、企業が成長し続けるためには、勤勉であることは当然であり、まず、
一人ひとりが「自分が成長しなければ会社は成長しない」と自覚することが必要だと思ひます。